

# 井上眼科だより

Inouye Eye Hospital NEWS

Inouye Eye Hospital  
第12回  
だより

全国で活躍中の井上眼科病院 OB の先生をご紹介します!

医療法人社団八光会  
菅原眼科クリニック

菅原 道孝 院長



↑(左から)岡山、菅原豊先生、菅原道孝先生、井上。前院長の豊先生も井上眼科病院のOB。



↑下町になじむ優しい印象のクリニック

**現**在は下町情緒あふれる都電荒川線三ノ輪橋駅すぐそばの菅原眼科クリニックで地域の眼科医療を担っている。「いままで月1日だった白内障手術の手術日を増やして、毎週行えるようにします。また、加齢黄斑変性や網膜静脈閉塞症による黄斑浮腫の患者さんに対する硝子体注射を当院でも行えるようにします」(菅原先生)

医療法人社団八光会  
菅原眼科クリニック  
www.sugahara-ganka.com  
電話：03-3801-6078  
住所：東京都荒川区南千住 1-13-3  
アクセス：都電荒川線 三ノ輪橋駅 徒歩1分



2007年4月に井上眼科病院に入局し、2012年から約3年間副院長を務めた後、2015年3月に退職した菅原道孝先生。専門はぶどう膜炎で、退職後はお茶の水・井上眼科クリニックの非常勤医師として週1回の専門外来を担当している。「井上眼科病院の勤務時代に印象的だったのは、とにかく患者さんが多いということ。いつもお待たせしてすみませんでした。役職上、他の病院からのセカンドオピニオンや院内での担当医変更の患者さんを診察させていただくことが多く、その時に『患者さんの話をよく聞くことが大事』ということ学びました。井上眼科病院は専門外来も充実しており、まさに眼の総合病院。患者さんは安心して受診してください」(菅原先生)

## NEW! 入局医師のご紹介

### 常勤医師



**小林 一博**  
(こばやし・かずひろ)  
西葛西・井上眼科病院  
2015年5月入局

5月より、西葛西・井上眼科病院で勤めさせていただいております。皆様のお役に立てるようにがんばっていききたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

### 眼科後期研修医(お茶の水)



**上田 健昭**  
(うえだ・たけあき)  
2015年4月入局

先生方・先輩職員方に様々な角度からご指導を賜りながら、成長できるよう努めてまいります。よろしくお願いいたします。



**内田 美羽**  
(うちだ・みは)  
2015年4月入局

思いやりの心を大切に、患者さまに頼りにしていただける眼科医を目指し、努力し精進してまいります。

お茶の水・井上眼科クリニック  
屈折矯正外来

参加費  
無料  
**説明会  
開催中!**

### プレミアム白内障手術 説明会

最先端レーザーと高機能多焦点レンズを用いた白内障手術の説明会。月2回開催。

詳しくは職員にお問い合わせいただくか、当グループ HP をご覧ください

### レーシック説明会

レーシック手術の説明会。月1回開催。適応検査も可能。

ご意見・ご感想を [press-agent@inouye-eye.or.jp](mailto:press-agent@inouye-eye.or.jp) (広報課)までお寄せください

発行：医療法人社団済安堂 井上眼科病院 [www.inouye-eye.or.jp](http://www.inouye-eye.or.jp)  
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台4丁目3番地 TEL 03-3295-0911

QRコードを読み取ると→  
メールフォームが開きます



## 特集 どうして大事? 「眼科検診」

お茶の水・井上眼科クリニック 院長  
岡山 良子

今年も半分が過ぎてしまいました。日本のあちこちで火山爆発のニュースもあり、少々心配な昨今です。井上眼科病院グループでは3月に西葛西に新病院が開院し、お陰様で順調なすべりだとなっております。

さて、現在の医療は特に治療に関してはめざましい進歩がみられます。眼科領域においては白内障手術の多焦点眼内レンズ、オーダーメイドの多焦点レンズ、加齢黄斑変性や網膜色素変性のiPS細胞移植、黄斑浮腫の抗VEGF硝子体注射、角膜内皮細胞移植など、患者の皆様には朗報が色々届いていることと思います。そしてこれからも多領域にわたり更なる発展が期待されるところです。しかしながら本来病気は「早期発見・早期治療」が理想です。時々もう少し早く受診して

いただいていたらと悔しい思いをすることがあります。そこで今回の眼科だよりは当院の「眼科ドック」を特集しました。是非ご一読ください。

ところで先日、「コミショ」という単語を初めて耳にしました。皆さんご存知ですか?若い人の中では軽いノリで使われているようで、「コミュニケーション障害」の略らしいのですが、確かに今はSNSだメールだといって対面で話さなくてもよい状況がつけられています。しかしお互い理解するには対面で表情を見ながら生の言葉で伝えるのが一番確実のように思います。外来診療でも私たちは皆さんの顔をみながらコミュニケーションをしっかりとれるように努力してまいりますので宜しくお願いいたします。

どうして大事

# 「眼科検診」



眼科医の診断による早期発見を  
井上眼科病院 院長 井上 賢治 医師

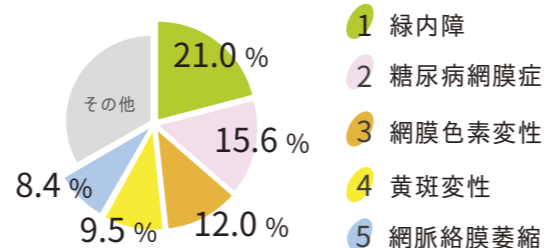
日本人の視覚障害の原因として緑内障、糖尿病網膜症、網膜色素変性、黄斑変性、網脈絡膜萎縮などが挙げられます。<sup>\*1</sup>どれも自分で気づいた時には深刻化しているケースが珍しくありません。眼は片眼に異常が生じて、もう片眼がカバーしてしまうために自覚症状が現れるのが遅れるとされ、これが眼科疾患の早期発見が難しい理由とも言えます。

そこで定期的な眼検診が重要になってくるのですが、住民健診で成人眼検診を行っている自治体は全体のわずか 16.3%、その検査項目も簡単なもので、さらにそのうち 41.7%の自治体ではその判定を眼科医師以外が行っているという調査結果があり<sup>\*2</sup>、眼疾患を早期に発見するには不十分と言えます。

お茶の水・井上眼科クリニックでは、眼の総合病院ならではの充実した検査内容をもとに眼科専門医が診断する眼科ドックを設け、眼疾患の早期発見に努めています。眼科ドックをきっかけに緑内障や網脈絡膜萎縮が発見された例もあり<sup>\*3</sup>、早期発見が難しい眼疾患の治療に非常に役立っていると実感しています。

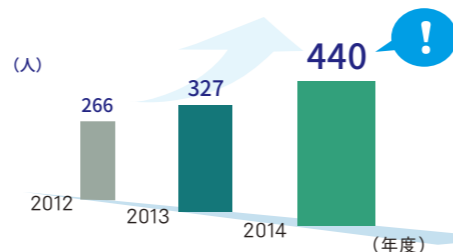
データで見る  
眼科検診の重要性

## ◆日本人の視覚障害の原因順位と割合<sup>\*1</sup>



1位の緑内障をはじめ、初期には自覚症状が非常に少なく発見が遅れることが多いと言われる疾患が続く。

## ◆眼科ドック受診者の推移



過去3年間のお茶の水・井上眼科クリニックの実績。受診者は増加傾向で眼科検診を重要視している人が増えている。

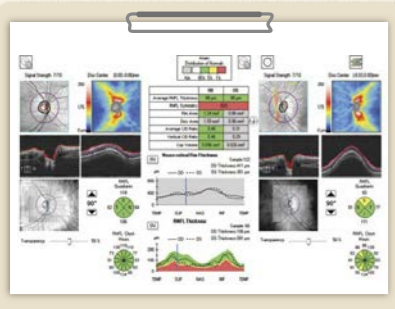
## 「眼科ドック」では、実際にどういふことをするのでしょ

コースは2つ。重要疾患の早期発見にはスペシャルコースがおすすめ。

基本コースは視力、眼圧、眼底写真等の人間ドックと同等の検査を行いつつ、眼科専門医が診断するのが当院の特長です。スペシャルコースは基本コースの内容に加え、視野検査とOCT（光干渉断層計）検査をします。OCTは現在の眼科診療には欠かせない検査と言われており、加齢黄斑変性や緑内障といった病気の早期発見が容易になります。これまでに眼科を受診したことがない、近親者に緑内障の方がいる、などの場合はスペシャルコースをおすすめします。



お茶の水・井上眼科クリニック  
画像検査課 河田 直樹



▲OCTの検査結果例。  
ここから網膜の厚さなど眼の状態がわかり正確な診断につながる。

お茶の水・井上眼科クリニック  
眼科ドック【予約制】

☎03-3295-7735 【電話受付時間】月～土 9:00～17:00 \*祝日・年末年始除く  
眼科ドックのパンフレットを院内で配布しておりますのでぜひご覧ください

## まもろう！こどもの目 vol.1

今回のまもるひと



西葛西・井上眼科病院  
視機能検査課  
黒田 有里  
(視能訓練士)

## 携帯ゲーム機・スマートフォン・タブレット… 電子端末と上手につき合みましょう

携帯ゲーム機やスマートフォン、タブレット等の電子端末をお子さまが使う場面も多いと思います。子どもの眼は柔軟性があり、近い距離で長時間画面を見続けても大人のように「疲れ」を自覚することはありません。ただ、近い距離にピントを合わせ続けると、自覚がなくても眼に負担がかかっており、集中して見続けることで瞬きが少なくなり目が乾燥します。また、電子端末はうつむいた姿勢で使うことが多く、肩や首にも負担が生じます。「目が痛い」や「目が重い」は眼の疲れや乾燥のサインかもしれません。以下のような対策をして上手につきあひましょう。

時間を決めて  
使用し、眼を  
使った後は数  
分間休ませる



外遊びの時間を  
積極的につくる



意識して  
まばたきをする



西葛西・井上眼科病院

## 小児外来前 壁画アート



西葛西・井上眼科病院では3月の新築・移転にあたり、小児外来の患者さまから海の生き物をテーマとした線画を募集。選ばれた絵にグラフィックデザイナーの三浦滉平さんが色を付け、にぎやかな壁画アートが完成しました。今回採用されたお子さまには壁画の原画がプレゼントされ、ご本人やご家族から「とてもいい記念になった」といった喜びの声をいただきました。ご応募いただいた皆様ありがとうございました。ご来院の際は小児外来前にぜひ足をお運びください。

中沢杏里ちゃん(5歳)  
一生懸命描いて良かった。きれいに色をつけてもらって嬉しい。お友達にも見てほしい。



### 絵が採用されたお子さまたちの声



市川紗羽ちゃん(4歳)  
お絵描きが好きだから嬉しい。



入沢 楓ちゃん(5歳)  
自分の絵が壁画になっていてすごかった。



伊藤美空ちゃん(7歳)  
描いた絵が選ばれてとても嬉しかった。

APAO 2015 第30回アジア太平洋眼科学会議



## “Distinguished Service Award”

西葛西・井上眼科病院 院長  
堀 貞夫 医師



↑授賞式での堀貞夫院長(右)

年1回開催されているアジア太平洋眼科学会(APAO)という国際学会の第30回目の会議が今年、中国の広州市で開催されました。この学会に加盟する国または地域で顕著な業績を上げた人に、毎年“Distinguished Service Award(特別功労賞)”が授与されており、今回、日本では西葛西・井上眼科病院院長の堀 貞夫医師が指名され、4月2日に授賞式に出席しました。アジア太平洋地域の眼科医療の発展に寄与したことが表彰される名誉ある受賞でした。

<sup>\*1</sup>…若生里奈ら「日本における視覚障害の原因と現状」日眼会誌 118:495-501,2014 <sup>\*2</sup>…川島素子ら「公的な成人眼検診の実施状況」日本の眼科 83:1036-1040,2012 <sup>\*3</sup>…井上賢治ら「眼科ドックにおける眼科疾患の発見」あたらしい眼科 31:1413-1416,2014